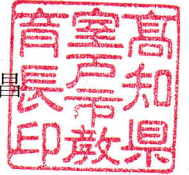


令和2年12月22日

保護者の皆様  
地域の皆様

室戸市教育長 百田 貴典



学校における教職員の働き方の改善に向けた取組について

日頃より、室戸市の教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、近年の学校現場を取り巻く環境は、複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、文部科学省の調査で教員の厳しい勤務実態が改めて明らかになり、いわゆる過労死ラインとされる長時間勤務に従事する教員が半数を超えるなど、看過できない重大な労務問題となっています。

これまでは、「子どものためであればどんな長時間勤務となってもやむを得ない」という教師の崇高な使命感や教職員の献身的な働き方を当然だとする風潮が長時間勤務の常態化の主な要因と考えられていました。

しかし、そのことにより教師が疲弊した状態で教壇に立ち続けていくことになれば、結果として子どものためにはなりません。

そこで、室戸市教育委員会では、教員が自らの授業や指導力を磨くとともに、日々の生活や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに効果的な教育活動を提供することを学校における働き方の改善の目的として、室戸市内各学校長と連携して教職員の長時間労働や働き方の改善に取り組みます。

保護者や地域の皆様におかれましては、ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、本趣旨をご理解いただき、なにとぞご協力くださいますようお願いいたします。

なお、室戸市内の全小中学校が統一した取り組みの概要は、別紙「ワークライフバランスの実現のための具体的な取組」（室戸市教育委員会）でお知らせするとともに、室戸市教育委員会HPにて「室戸市立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する指針」で詳細を掲載いたしますのでご覧いただきますようお願い申し上げます。

加えて、各小中学校長が独自に定める取組については、別途各学校からお知らせいたします。